

小児神経学の進歩

第12集

日本小児神経学会卒後教育委員会・編

株式会社
診断と治療社

= 目 次 =

目と小児神経学	石川 哲	1
I 検査法		1
II 瞳孔反応曲線の読み方		2
III 解剖		2
IV 促進と抑制		3
V 瞳孔の大きさ		4
VI 血圧降下剤		6
VII アーガイル・ロバートソン瞳孔		7
VIII 糖尿病瞳孔		7
IX アディー症候群		10
X 神経再生異常		11
XI 球後視神経炎		12
XII 脳幹と瞳孔		13
小児の神経耳科学	坂田 英治	16
I 小児にメニエール病は稀有である		16
II 平衡機能検査が重要な役割を果す主な疾患		16
III 多忙な外来において 10~15 分でおこなう小児神経耳科的検査		22
進行性筋ジストロフィー症	大澤真木子・福山 幸夫	31
I 定義		31
II 分類		31
III 病因		31
IV 各論		31
V 欧米における CMD の報告		46
筋生検・組織化学と電顕	埜 中 征哉	53
I 筋生検の適応、部位		53
II 筋生検の実際		54
III 組織固定法		55
IV 組織化学染色		57
V 病理組織標本の読み方		58
VI 電子顕微鏡的検索		62

多発性筋炎	佐 藤 猛	67
I 多発性筋炎, 皮膚筋炎の分類, 特に血管病変を中心として		67
II 封入体筋炎の概念と最近の問題点		68
 先天性および代謝性ミオパチー	木 下 真 男	74
I 先天性ミオパチー congenital myopathy		74
II 代謝性ミオパチー		80
 重症筋無力症	水 野 美 彦	86
I 病因および病理		86
II 痘学・遺伝		87
III 病型・症状		88
IV 検査所見		91
V 治 療		93
 = Clinical Conference (C.C.) =		
著明な成長障害, 知能発達遅延, 起立歩行障害, 筋力低下, 不随意運動（ミオクローヌス）を呈した男児例	〔司 会〕 平山 義人	98
	〔症例担当〕 茂木 令子	
	宍倉 啓子	
	鈴木 晴子	
	大澤真木子	
 = Clinical Pathological Conference (C.P.C.) =		
右内斜視, 嘔吐, 歩行障害にて発症した症例	〔司 会〕 熊谷 公明	120
	〔症例担当〕 福永 謙	
	横井 茂夫	
	〔病理担当〕 山下 広	
 神經原性筋疾患-Kugelberg-Welander 病を中心に	塚 越 廣	141
I 神經原性筋萎縮症の概括		141
II Kugelberg-Welander 病の歴史		141
III Kugelberg-Welander 病と脊髄性筋萎縮症		142
IV Kugelberg-Welander 病と Werdnig-Hoffmann 病		147
V K-W 病と運動ニューロン疾患		148
VI K-W 病の剖検例の検討		150

筋疾患の研究	里吉 営二郎	155
I NMRCTについて		155
II 臨床をしっかりやることについて		156
III Distal myopathyについて		157
IV ミトコンドリア・ミオパシーについて		165

この本はこの機会に発表されましたが、shin-
gokuだけではなく臨床実務の両方で使用する
ことができる。

内視鏡として頭皮感覚誘導ではメスリーナー
といふが、最近手に入りにくないので、ビニカルセ
ンの0.1%（0.5%を薄める）を使用する。
ビニカルセンは「エピカルセリン」（epicarce）と
書かれていたが、そのままで購入する。また、
カクテキ製中頭皮感覚神経筋の押出で、シナ